

07. フューチャーライフビレッジ



フューチャーライフゾーンに位置する展示、大阪・関西万博を一つの空間に集約したかのような場所がいわゆる「フューチャーライフビレッジ」です。

「非中心・離散」「多様でありながら、一つ」をテーマとしたこの大阪・関西万博の会場構成の特徴を取り入れた展示施設です。

夢洲の湿地帯をイメージした中庭周りに様々な展示やイベントが行われるユニットが並び、それらをつなぐリング状の通路をめぐって来訪者は自由に展示を回遊します。

緑が絡む蛇籠の壁に光や風が流れて雨水を循環利用し、ランドスケープと建築が密接に結びついた中庭ではこれからの環境空間の実践を試みています。

木の葉のような屋根が連なる班屋外空間が散らばり、心地よい森のように緩やかにまとまりながら多様な場を創出します。

この空間で特に印象的であったのは蛇籠（ガビオンウォール）です。資源循環のテーマをガビオンウォールにて表現することに新たな素材の考え方について再考する機会となりました。

木戸